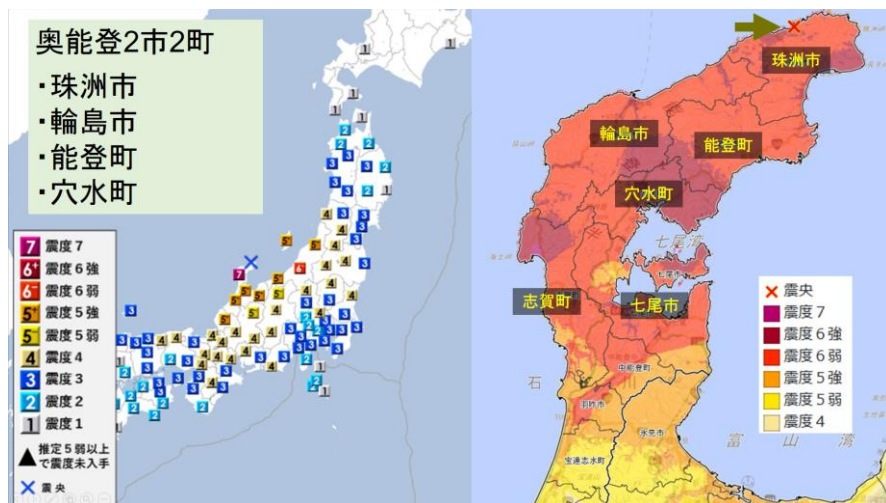


能登半島地震対応のため DMAT 出動

2024 年 1 月 8 日から 1 月 14 日の期間で能登半島地震の支援のため石川県へ出動しました。



皆さんの記憶にも新しいと思いますが、令和 6 年元旦に発した能登半島地震への支援に、全国の 4 次隊（静岡県の 3 次隊）として、1 月 7 日 12:38 分静岡県庁より派遣要請、同 17:00 スタッドレスタイヤ装着・荷物積込、同 17:45 県庁 zoom ミーティング参加、翌 8 日 9:00 出発となりました。



連休中にも関わらず、川辺副院長はじめ多くの方に見送られ出発しました。



参集場所の公立能登総合病院には、全国から多くの支援 DMA T が既に活動しておりました。



全国の隊員と活動・ミーティングを重ね、1月10日に珠洲市に入ることになりました。



奥能登へのアクセスはまだ情報も少なく、通行止めや雪で道路状況も悪く、細心の注意を払っての移動となりました。

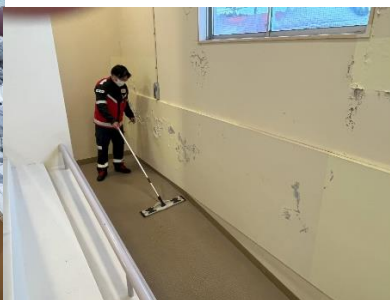




珠洲市でも多くの先遣隊が活動を行っており、珠洲市の職員の方々と連携を取りながらの活動となりました。



珠洲市では、ふれあいの里生きがい活動センターという市の施設に設置された広域搬送拠点で、避難所生活が困難で入院の必要のない福祉支援の必要な方々を、金沢市に設置された1.5次避難所へ移動するための拠点の立上げと運営を行いました。



施設は、耐震もしっかりしており電気も復旧しておりましたが、人が寝泊まりする環境は無かったので、段ボールベットを自ら組立・カーテンのパーティションを設置するなど1からの立上げとなりました。また、公共施設を借用しての活動でしたので毎朝掃除を行ったりしました。



1番の問題は、水が出ないこととトイレでした。写真のラップポンは自動で密封してくれる避難所の衛生面を劇的に改善する救世主でした。



珠洲市では、緊急消防援助隊など DMAT 以外の多くの支援が入っていましたが、人手が足りず我々も寸断された道路を避難所まで向かい搬送を行いました。



13日まで活動を行い、大雪予報で交通閉鎖が予報されるなか雪道の撤退となりました。



14日夜に無事に帰院しましたが、夜遅くにもかかわらず多くのお出迎えがあり非常に安堵し涙が出ました。派遣中も逐次連絡を取り合い、現地ではなかなか得られない情報の提供や励ましに、病院一丸となって今回の派遣が無事に遂行出来たことに感謝いたします。

これからも市民の安全と有事の際の支援に、弛まぬ訓練と研鑽を重ね備えていく所存です。